

高校生を対象に深層崩壊箇所の現場見学会 を実施しました

紀伊山地砂防事務所では、平成23年台風12号に伴う大雨により河道閉塞が発生した、赤谷地区（奈良県五條市大塔町）において、奈良県立畝傍高等学校の奈良TIME（総合的な学習の時間）におけるフィールドワークとして、昨年度より生徒を対象に現場見学会を実施しています。

今年も5月から6月にかけて3回実施し、生徒の皆さんは普段は立ち入ることの出来ない現場を間近で見学され、担当者の説明に熱心に耳を傾けられていました。

また、5月31日の見学会ではNHK奈良放送局の取材も行われました。



- 開催日：平成28年5月10日、5月31日、6月7日
午後3時～午後4時
- 主催：紀伊山地砂防事務所
- 参加者：奈良県立畝傍高等学校（計74名）
紀伊山地砂防事務所（木村副所長、
吉村建設専門官、内海建設監督官）



【 説明状況 】



【 説明状況 】



【 現場状況 】



【 現場見学状況 】



【 質問する生徒たち 】



【 生徒への取材状況 】



現場見学会の生徒の感想

- ・スケールの大きさに驚くばかりであった。元の状態に戻すのにまだまだ時間がかかるので、根気が要る。
- ・報道番組などでは、土砂崩れの現場を何回も観たことがあったが、実際に現場を見るのは初めてだったので驚いた。
- ・砂防設備を大規模に作り上げることによる問題（生態系への影響）はないのか？
- ・夜間の間に崩壊事故が起きたり、危険度が高いため無人機を導入したりするなど、危険で負担の多い場所だと感じた。



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山地砂防事務所 工務課
〒637-0002 五條市三在町1681 TEL 0747-25-3110（代表）